

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	母子生活支援施設 倉敷市鶴心寮
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市栗坂 8 番地 名称 社会福祉法人 クムレ 代表者 理事長 財前 民男
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>指定管理は通算 15 年目であり、特に問題となるところはなく、引き続き安定した管理運営ができています。</p> <p>今年度は、感染症対策、災害時の対応、建物の日常的な維持管理を重視し評価を行った。</p> <p>感染症対策については、手指消毒や換気、施設内の定期的な消毒等、日常的に感染症予防対策が実施できている。共用掲示板で情報提供を行ったり、施設職員から入所者へ施設での感染対策や発熱時の対応について説明が行われ、情報の共有ができています。入所者及び施設職員の検温や体調について毎日記録しており、来寮者についても記録簿で管理できている。また、施設内で感染者が発生した場合も想定し、感染症対応マニュアルの改訂や衛生用品の購入・備蓄等、施設整備にも取り組んでいる。</p> <p>災害時の対応については、避難確保計画の作成、各種対応マニュアルや緊急連絡網を整備しており、入所者にも周知できている。防災訓練は、目標を明確にした年間計画表を作成し、入所者とともに毎月実施できている。火災や地震、台風等の災害訓練だけでなく、不審者対応訓練や職員不在の場合など、さまざまな場合を想定した訓練が</p>	総合評価
	S	

	<p>実施できている。また、非常持ち出し袋や災害時 用備蓄品も整えられている。</p> <p>建物の日常的な維持管理については、法定点検 及び職員による日常点検が行われている。施設内 は清掃が行き届き、清潔感が保たれている。空き 室やベランダ、屋外の側溝なども定期的に清掃が 行われ、建物の維持管理に努めている。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感 染拡大防止のため、施設内行事や地域との交流行 事について自粛傾向ではあったが、地域住民や関 係機関と協働しながら、継続した支援が行われて いる。</p> <p>また、入所者との面談の際に確認したところ、 施設職員による運営及び支援については、満足で あるとのことであった。</p> <p>施設退所後も母子が地域で安定した生活が送 れるように、今後も引き続き関係機関と連携し、 入所者の自立につながる支援に努めていただき たい。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>自立支援では母と子の主体的な目標を軸に地域での具体的 な生活が段階的に描けるように、福祉事務所、保健所、児童相 談所、就労支援事業所等と協働して自立に向けて伴走した。入 所世帯ごとに重複した課題があるが、各機関が役割分担を行う ことで、課題解決に向け、『顔の見える関係』の中で支援する ことができた。</p> <p>児童の支援では、自主事業であるおやつの提供を子どもと のコミュニケーションを目的として実施した。入所世帯の子 どものみならず、退所世帯の子どもも来寮し、職員に学校生 活や友人関係について話せる時間となった。また、家庭で自 分の思いを表出できない子どもが、短時間でも安心して自分 の思いを語れる場を保障する意図で、子どもがやりたいこと を職員と行う個別の日を実施した。法人内の子どもの居場所 作りの取り組みにも参加する機会を増やし、配慮された場 で、大人や子どもと触れ合う時間の中で自分を見守ってもら える経験になった。</p> <p>人材育成では、職員各々がキャリアアップの目標に沿って法 人内研修、外部研修に参加した。研修で得た学びは、施設内や、 利用者の地域の支え手である法人内の児童家庭支援センター と共有し、日々の支援の視点を振り返ったり、活かすことが できた。</p>	

施設整備においては、新型コロナウイルス感染症対策として、施設内で感染者が発生した場合を想定した居室整備を行うとともに、倉敷市や法人の助言を受けながら、施設内ゾーニング、感染症マニュアルの策定を行った。また、大規模災害時に備え、非常持ち出し品や備蓄品を整えた。

ボランティアの活用としては、前年度に引き続き、園芸療法士による季節の花や野菜の植え付けを利用者と一緒に行い、自分で手掛けた野菜を行事での食材にできた。また、職員も園芸から利用者支援における効果について学ぶ機会となった。学生ボランティアには、子どもの学習支援や遊びの支援、行事へ積極的に参加してもらうことにより、母と子にとってよいロールモデルとなった。

アフターケアでは、アフター支援担当を窓口として地域生活を見据え、関係機関と協働しながら入所中の支援、退所に向けた支援、退所後の支援と、支援の過程を明確にすることにより、入所者や退所者に寄り添いの支援を心がけた。また、法人内児童家庭支援センタークムレと入所中から『地域における家族支援』の視点をもって協働を重ね、退所後も地域で暮らす気になる退所者の様子を予防的視点を含め定期的に把握し、地域で相談できる場所や人を増やすことを視点に繋がる場づくりの取り組みを行った。

その他、地域住民との関わりでは、町内行事（ペタンク大会）への参加、町内会費持参時に交わす地域住民との会話の際に、日頃から鶴心寮を見守ってくださる関係性が定着してきている。また、地域との交流行事により、母と子が顔見知りの地域住民と積極的に交流することができた。

平成 30 年度から『鶴心寮の理念』の作成に取り組み、全国母子生活支援施設協議会倫理綱領や法人の理念・基本方針を踏まえながら、事業所内研修で検討を重ねてきた。今年度は作成した『鶴心寮の理念』について母と子に説明し、共用スペースと事務所に掲げ、入所時から退所後まで施設での支援の流れや行動指針を共有した。

令和 2 年度は 3 年ごとに行われる第三者評価を受審し、今後取り組むべき課題が明確になったとともに、権利擁護について施設内で理解を深めることができた。次年度は課題改善への取り組みを計画的に行いながら、更なる利用者支援の質の向上を目指していく。

(3) アンケート結果の概要	アンケートは実施していない。利用者の自治会である親の会、子どもの会で毎月、直接、意見や要望を聞く機会を設けている。また、意見箱を設置しており、入所者の要望や質問に随時対応している。
----------------	--

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<table border="1" data-bbox="411 584 1428 779"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>入寮</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>退寮</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="483 792 1420 824">(世帯：各月初日在籍世帯数 入・退寮：当該月中の入・退寮世帯数)</p> <ul data-bbox="419 891 1101 969" style="list-style-type: none"> ・入寮状況：入寮 2世帯，退寮 6世帯 ・一時保護実施状況：(県) 0世帯 (市) 2世帯 	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	世帯	5	6	6	5	5	4	4	4	4	1	1	1	46	入寮	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	退寮	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	1	0	6
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																																											
世帯	5	6	6	5	5	4	4	4	4	1	1	1	46																																												
入寮	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2																																												
退寮	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	1	0	6																																												
(2) 事業の内容	<ul data-bbox="414 1064 1436 2040" style="list-style-type: none"> ■ 自立支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援計画策定・再評価(利用者との面談により実施) ・就労支援(情報提供，ハローワーク同行とその間の子の預かり) ・生活支援(通院同行，登校支援，各種手続支援，家計管理，買物同行，健康管理等) ・子育て支援(養育相談，緊急時や母のストレス軽減目的の子の預かり) ・児童への支援(学習支援，遊びの支援，不登校児に対する支援，学校や要保護児童対策地域協議会，法人内との連携) ・その他，離婚・DV・家族間の問題に対する支援 ・アフターケア(行事への招待，来所・電話・訪問等による相談，就学支援，外国籍の方の相談・契約書等の作成，一時預かり等) ・臨床心理士によるケース会議や支援方針会議での自立支援への助言，子どもの行動観察 ■ 行 事 <ul style="list-style-type: none"> ・親の会，子どもの会，災害訓練，児童個別の日(毎月1回) ・誕生会(利用者該当月) ・寮内健康診断(年2回) ・年中行事，親子行事，自然体験，地域との交流行事等 ■ 一時保護等事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県委託による緊急一時保護 ・市委託による緊急一時保護 																																																								

	<ul style="list-style-type: none"> ・ トワイライトステイ ■ 施設管理業務 ・ 施設・備品等の小修繕等による施設整備及び清掃・除草等による環境整備 ・ 消防設備, 非常通報装置等機器及び夜間警備を委託により実施
--	---

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 34,958 千円	
	市からの指定管理料 (委託料)	34,405 千円
	母子家庭世帯緊急一時保護委託料	96 千円
	経常経費寄附金	80 千円
	その他の収入	377 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 36,171 千円	
	主な支出 人件費	27,335 千円
	光熱水費	983 千円
	施設管理委託費	3,995 千円
	土地建物賃借料	504 千円
	保険料	203 千円
	教養娯楽費	174 千円
	通信運搬費	420 千円
	事務消耗品費	272 千円
	固定資産取得	229 千円
	その他経費	2,056 千円